

授業概要

展示の歴史・諸形態・手法・注意点、展示による教育活動を学び、展示の理論と方法を理解した上で、展示製作の知識・技術を習得できるよう講義する。

また様々な展示解説の手段を知ることにより、展示解説者としての素養を身に付け、展示を通じた教育活動にも携われるよう指導する。

授業計画

第 1 回	ガイダンス 博物館展示の意義
第 2 回	展示によるコミュニケーション
第 3 回	展示の発展と課題
第 4 回	展示の形態と手法
第 5 回	展示の注意点
第 6 回	展示の危機管理
第 7 回	展示と保存の両立
第 8 回	専門分野別による展示①
第 9 回	専門分野別による展示②
第 10 回	専門分野別による展示③
第 11 回	展示の製作①
第 12 回	展示の製作②
第 13 回	展示に関わる人々
第 14 回	展示と市民の関わり
第 15 回	授業の総括 展示の課題
第 16 回	筆記試験

到達目標

展示の理論と方法を理解し、学芸員として必要な博物館の展示機能に関する基礎的能力を養い、実際に展示製作に携われる知識・技術を習得する。

履修上の注意

遅刻・欠席をしない。

博物館概論の知識を身につけておくことが望ましい。

学期中に博物館の個人見学を課す。

予習・復習

館種ごとに異なる展示方法に留意して複数の博物館を訪ね、それぞれの特徴を捉える。

評価方法

学期末試験 80%、受講態度 20%。

テキスト

教科書は特に使用しない。授業内に参考文献をあげ、適宜資料を配布する。